

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

事業名【新】岐阜県消防学校教育環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

消防学校 教育訓練係 電話番号：0586-89-3226

E-mail : c21201@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,694 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	17,694	0	0	0	0	0	0	0	17,694
決定額									

2 要求内容

新型コロナウィルス感染拡大を受けてオンライン講義等において利用することを目的に整備した情報端末（タブレット端末）と通信環境（Wi-Fi）を整備したが、導入から5年が経過しタブレット端末のバッテリーの劣化が著しいことから更新が必要な状況である。

(2) 事業内容

タブレット端末と通信環境の整備により実現した学校教育におけるデジタル化・ペーパーレス化をさらに推進させるべく、タブレット端末や通信機器の更新を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方
消防組織法に基づき県が負担すべきもの

(4) 類似事業の有無
無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	924	タブレット用耐衝撃フィルム、ケース
役務費	271	タブレット保守
委託料	14	iPad処分費
備品購入費	9,680	タブレット端末
補助金		
工事請負費	6,805	Wi-Fi更新費用
合計	17,694	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3期岐阜県強靭化計画

(8) 行政機能～公助の強化～

【警察・消防】消防団員・水防団員等人材の確保・育成

県消防学校に新たに整備した訓練施設を各消防本部、消防団の訓練にも活用し、引き続き消防職員及び消防団員の複雑化、多様化する災害への現場対応力の向上を図る。

(2) 国・他県の状況

- ・宮城県消防学校等で同様の取組み実施。
- ・全国的にも消防学校教育におけるICT化の取組みが予定、検討されている。

(3) 後年度の財政負担

- ・修繕費126千円／年（導入タブレット台数のおよそ2%×@30千円）
- ・その他機器類に故障が発生した場合の修繕料が必要となる。

(4) 事業主体及びその妥当性

消防学校において消防職員および団員の教育を実施するものであり、学校運営は、消防組織法で都道府県が実施すると定められている。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス同様の未知の感染症が流行した際にも教育の質を保つことができる体制を引き続き維持すると同時に、消防学校教育におけるデジタル化・ペーパーレス化を一步前進させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R 年度 実績	R 年度 目標	R 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

現状において、消防職員教育用タブレット端末の充足率は100%であり、これを維持することが目標であるため

（これまでの取組内容と成果）

令 和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	未知なる感染が拡大したとしても、オンライン授業等により、学生の教育時間を確保できることは、県下各市町村の消防体制の維持・発展のため極めて重要である。
-----------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)	
------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

県内消防本部のニーズ及び受講した消防職員の意見等を踏まえ、教育訓練のデジタル化やペーパレス化を推進する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	